

國立台灣大學社會科學院國家發展研究所

105 學年度博士班入學考試試題

科目：日文

請將下列文章翻譯成中文，並將畫線處的詞彙抄寫在答案卷上標注假名。

(一) トランプ現象 「痛快だから」では済まぬ

歯切れがよいといっても、その主張は過激、排他的で、暴言、失言を連発する。大方は早々に自滅すると予想したのだろうが、その勢いは止まらない。

米大統領選に向けた共和党の候補指名争いで、不動産王、ドナルド・トランプ氏が大差をつけて先頭を走っている。

序盤戦最大の山場、「スーパーチューズデー」で、さらに優位に立った。

唯一の超大国、米国の指導者を決めるレースである。世界の将来に大きな影響を与えるだけに不安を覚えないわけにはいかない。

トランプ氏は「貿易で日本、中国、メキシコを打ち負かす」と連呼する。有無を言わず通商紛争を仕掛けるかのような、内向きで独善的な物言いだ。

テロ事件に関連したイスラム教徒入国拒否の発言に至っては、極めて不適切だ。

その言動をみる限り、アジア・太平洋地域の安定の要である日米同盟の意義を理解しているとは思えない。この人物では、日本の安全保障に悪影響を及ぼすとの懸念も持たれよう。

ヘイデン元米中央情報局（CIA）長官は、トランプ氏が最高司令官である大統領に就任しても「米軍は命令に従わないこともありうる」とまで指摘した。

政治経験のないトランプ氏の人気は、既成の政治への不満の反映であり、大衆の本音をずばり口にするポピュリズムにある。

オバマ政権が招いた「弱い米国」への批判や、同政権下で広がった保守とリベラルの両極化などが背景にあらう。

富裕層に対する不公平感など、米国民にやり場のない不満があることも無視できない。

共和党内には、主流派の候補が絞り込まれればトランプ氏に勝ち目はないとの楽観的な見通しがあったが、有権者の不満を読み切れていなかった。

「トランプ現象」が米国の政治、社会の課題を示しているのだとすれば、対立候補はその問題点を指摘し、自ら克服する手法や政策を明確に提示して、巻き返しを図る必要がある。

民主党ではヒラリー・クリントン前国務長官がリードを固めた。共和、民主両党の予備選は続く。各候補とも世界の次期指導者にふさわしい品格と英知を競い合ってほしい。

(翻訳 45%、振り仮名 : 5%)

※【産経新聞】2016/3/3

<http://www.iza.ne.jp/kiji/column/news/160303/clm16030305030002-n1.html>

(二) 外国人労働者 総活躍社会のほころびか

「1億総活躍社会」の看板に偽りがないなら、外国人労働者の受け入れ拡大の前に、日本人が活躍できる社会づくりに力を注ぐべきだろう。

安倍晋三首相が政府の経済財政諮問会議で「外国人材の活用を進めてほしい」と指示した。自民党も特命委員会を設置し、受け入れ拡大策をまとめるという。

雇用環境の改善で幅広い業種で人手が不足している。人口減少に伴い、中長期的にはさらに深刻化しよう。働き手をどう確保するかは、今後の大きな課題である。

だが、これを解決するため、安易に外国人に頼ろうとする姿勢はおかしい。

そもそも、外国人を「安価な労働力」と捉えているなら大きな間違いである。労働者として迎え入れる以上、社会保障や最低賃金などの雇用条件を日本人と等しくしなければならない。この分野は低賃金に抑えておきたい、という思惑があるのだろうか。

34歳以下の若年無業者は60万人前後で推移している。保育所に空きがなく仕事を辞めざるを得ない女性や、親の介護に伴う離職者も後を絶たない。こうした課題に対処するため、国内の人材をフル活用するのが「1億総活躍社会」だったはずだ。

とくに高齢者雇用の拡大、介護職員や保育士などの待遇改善は喫緊の課題だ。働き方や仕事の在り方も人口減少社会に適応する形へ見直すべきだ。新技術やロボットの活用も急がねばならない。

聞き捨てならないのは、自民党の木村義雄特命委員長が「移民の寸前まで持っていけるかも含め議論したい」と述べたことだ。

諮問会議でも、民間議員から永住権を取得しやすくするよう対策を求める意見が出ている。

永住前提の移民と、企業が一時的戦力として雇う外国人労働者とは全く異なる。首相は「移民政策は考えていない」と繰り返し明言している。

国策の大転換につながる課題について、前のめりで議論するのは容認できない。

外国人労働者をめぐっては、過去に生活ルールを守らないなど地域におけるトラブルも続発した。労働力確保を優先させたいあまり、社会的コストを無視するような姿勢は問題だ。政府や自民党には、社会的な影響も踏まえた冷静な議論を求めたい。

(翻訳 45%、振り仮名 : 5%)

※【産経新聞】2016/3/22

<http://www.iza.ne.jp/kiji/column/news/160322/clm16032205020002-n1.html>

~ 試題隨卷繳回 ~